



2014年3月期 決算説明会

2014年5月16日

南海電気鉄道株式会社

本日の内容

1. 2014年3月期 決算の概要 P 2
2. セグメント別の状況(2014年3月期) P 6
3. 2015年3月期の業績予想 P17
4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況 P22





1. 2014年3月期 決算の概要

1. 2014年3月期決算の概要

1) 業績ハイライト

(単位:百万円・%)

	2013年3月期	2014年3月期	増減額	増減率	増減理由
営業収益	184,412	197,495	13,083	7.1	●営業収益 関西国際空港利用客の増加に加え、消費税増税に伴う先買い需要もあり、運輸業において増収となったほか、その他の事業を除く各セグメントにおいても増収
営業利益	21,973	23,062	1,088	5.0	●営業利益 増収に伴う増益
経常利益	15,474	16,899	1,424	9.2	●経常利益 営業増益に加え、支払利息の減少が寄与し増益
当期純利益	7,518	9,615	2,096	27.9	●当期純利益 経常増益に加え、特別損益の改善もあり増益

1. 2014年3月期決算の概要

2) 資産、負債及び純資産の状況

(単位:百万円)

	2013年3月末	2014年3月末	増減額	増減理由
流動資産	87,171	80,406	△6,764	●流動資産 譲渡性預金の減少
固定資産	694,418	701,265	6,846	●固定資産 減価償却の進捗があったものの、連続立体交差化工事の進捗による建設仮勘定の増加や、保有上場株式の株価上昇による投資有価証券の増加による増加
資産合計	781,589	781,671	82	
負債合計	638,413	629,631	△8,781	●負債 借入金及び社債の減少
純資産	143,176	152,039	8,863	●純資産 剰余金の配当による減少があったものの、当期純利益の計上や、その他有価証券評価差額金の増加による増加
負債純資産合計	781,589	781,671	82	
有利子負債残高	469,699	452,766	△16,933	社債の償還等による減少

1. 2014年3月期決算の概要

3) キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

	2013年3月期	2014年3月期	増減額	増減理由
営業活動による キャッシュ・フロー	37,332	27,459	△9,873	●営業活動によるキャッシュ・フロー 売上債権の増加等による収入の減少
投資活動による キャッシュ・フロー	△15,719	△17,675	△1,956	●投資活動によるキャッシュ・フロー 敷金及び保証金の回収が減少したことや、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が増加したこと等による支出の増加
財務活動による キャッシュ・フロー	△13,592	△19,779	△6,187	●財務活動によるキャッシュ・フロー 社債の発行による収入がなかったこと等による支出の増加
現金及び現金 同等物の期末残高	26,955	16,959	△9,996	



2. セグメント別の状況(2014年3月期)

2. セグメント別の状況(2014年3月期)

セグメントの構成状況 (2014年3月末現在)

【連結子会社57社・非連結子会社11社・関連会社7社(うち持分法適用会社2社)】

増減(対 2013年3月末現在)

連結子会社の増加 4社:株式会社日本エコプランニングサービス、株式会社京阪電気商会、株式会社クラカタ商事、太陽ビルサービス株式会社

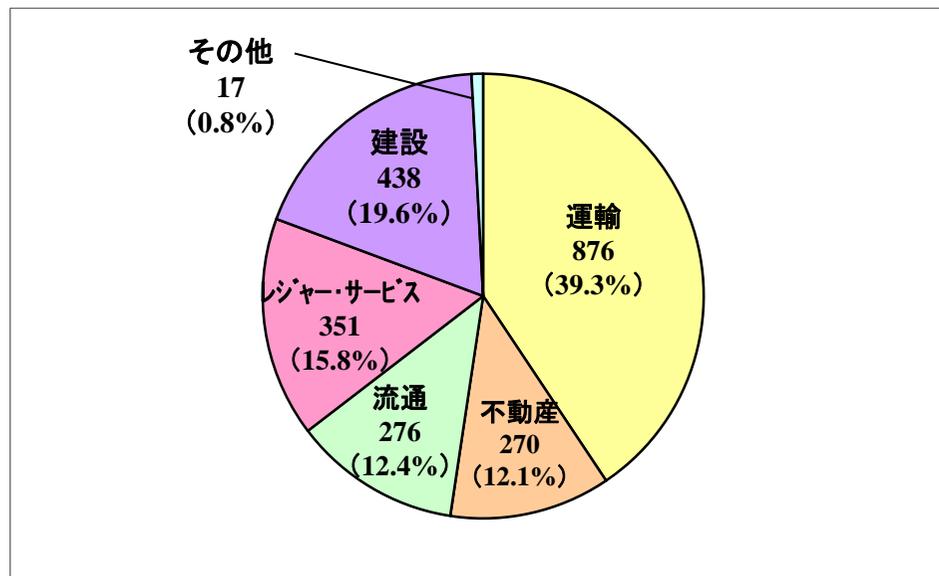
関連会社の増加 1社:PT. NISSENKEN INDONESIA

持分法適用関連会社の減少 1社:株式会社ステーションパーキング岸和田

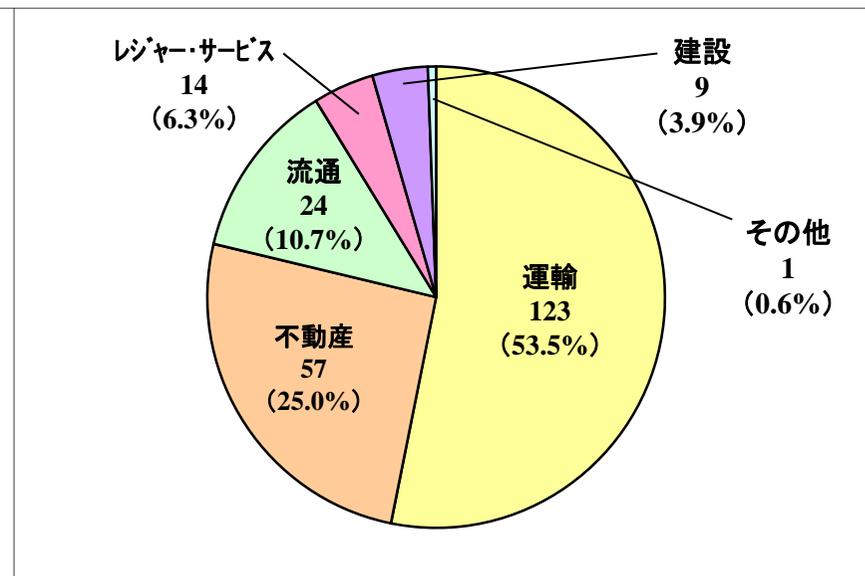
運輸業 (32社)	不動産業 (3社)	流通業 (8社)	レジャー・サービス業 (26社)	建設業 (6社)	その他の事業 (4社)
--------------	--------------	-------------	---------------------	-------------	----------------

※当社は複数セグメントに重複して含まれております。

営業収益 (単位:億円)



営業利益 (単位:億円)



2. セグメント別の状況(2014年3月期)

1) セグメント別営業収益

(単位:百万円・%)

	2013年3月期	2014年3月期	増減額	増減率
運 輸 業	86,097	87,669	1,572	1.8
不 動 産 業	25,023	27,046	2,023	8.1
流 通 業	25,978	27,672	1,693	6.5
レジャー・サービス業	33,940	35,155	1,215	3.6
建 設 業	39,280	43,839	4,558	11.6
そ の 他 の 事 業	1,801	1,746	△55	△3.1
調 整 額	△27,710	△25,635		
合 計	184,412	197,495	13,083	7.1

2. セグメント別の状況(2014年3月期)

2) セグメント別営業利益

(単位:百万円・%)

	2013年3月期	2014年3月期	増減額	増減率
運 輸 業	11,896	12,374	478	4.0
不 動 産 業	5,715	5,788	72	1.3
流 通 業	2,795	2,474	△321	△11.5
レジャー・サービス業	962	1,450	488	50.8
建 設 業	875	912	37	4.3
そ の 他 の 事 業	131	131	0	0.3
調 整 額	△401	△69		
合 計	21,973	23,062	1,088	5.0

2. セグメント別の状況(2014年3月期)

3) 運輸業の実績 (増収増益)

(単位:百万円・%)

	2013年3月期	2014年3月期	増減額	増減率	増減理由
鉄道事業	55,223	56,180	957	1.7	<ul style="list-style-type: none"> ●鉄道事業 関西国際空港利用客の増加に加え、消費税増税に伴う先買い需要による増収 ●バス事業 契約輸送収入の増加等による増収 ●車両整備業 整備収入の増加による増収
軌道事業	1,424	1,449	24	1.8	
バス事業	25,393	25,648	255	1.0	
海運業	1,877	1,887	9	0.5	
貨物運送業	3,668	3,832	163	4.5	
車両整備業	4,694	4,985	291	6.2	
調整額(セグメント内)	△6,183	△6,314			
営業収益	86,097	87,669	1,572	1.8	
営業利益	11,896	12,374	478	4.0	
減価償却費	11,857	11,857	0	0.0	
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	12,290	12,603	313	2.6	

2. セグメント別の状況(2014年3月期)

鉄道旅客収入と輸送人員表

(単位:百万円・千人・%)

全線			2013年3月期	2014年3月期	増減率
旅客収入	定期	外	30,114	30,933	2.7
	定期	期	22,398	22,599	0.9
	合	計	52,513	53,532	1.9
輸送人員	定期	外	87,182	88,834	1.9
	定期	期	137,947	140,028	1.5
	合	計	225,129	228,862	1.7

(単位:百万円・千人・%)

空港線			2013年3月期	2014年3月期	増減率
旅客収入	定期	外	4,000	4,450	11.2
	定期	期	1,116	1,146	2.7
	合	計	5,116	5,596	9.4
輸送人員	定期	外	4,877	5,544	13.7
	定期	期	3,525	3,655	3.7
	合	計	8,402	9,199	9.5

2. セグメント別の状況(2014年3月期)

4) 不動産業の実績 (増収増益)

(単位:百万円・%)

	2013年3月期	2014年3月期	増減額	増減率	増減理由
不動産賃貸業	18,333	17,861	△472	△2.6	●不動産販売業 分譲マンションの販売増加による増収 ●主な利益内訳 不動産賃貸業 7,131(△270) 不動産販売業 △1,358(+326)
不動産販売業	7,081	10,242	3,160	44.6	
調整額(セグメント内)	△392	△1,056			
営業収益	25,023	27,046	2,023	8.1	
営業利益	5,715	5,788	72	1.3	
減価償却費	4,206	4,272	66	1.6	
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	4,303	3,709	△593	△13.8	

2. セグメント別の状況(2014年3月期)

5) 流通業の実績 (増収減益)

(単位:百万円・%)

	2013年3月期	2014年3月期	増減額	増減率	増減理由
ショッピングセンターの経営	9,723	9,575	△148	△1.5	●ショッピングセンターの経営 なんばパークスのリニューアル効果が一巡したこと等による減収
駅ビジネス事業	14,537	16,250	1,713	11.8	
その他	3,163	3,408	245	7.8	●駅ビジネス事業 駅ナカ商業施設「ekimo天王寺」 「ekimoなんば」開業による増収
調整額(セグメント内)	△1,445	△1,561			
営業収益	25,978	27,672	1,693	6.5	
営業利益	2,795	2,474	△321	△11.5	
減価償却費	3,250	3,324	73	2.3	
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	2,671	1,964	△707	△26.5	

2. セグメント別の状況(2014年3月期)

6) レジャー・サービス業の実績 (増収増益)

(単位:百万円・%)

	2013年3月期	2014年3月期	増減額	増減率	増減理由
遊園事業	1,016	995	△20	△2.0	●ホテル・旅館業 宿泊者数の増加による増収 ●ボートレース施設賃貸業 「ボートパーク住之江」開業による舟券 売上の増加による増収 ●ビル管理メンテナンス業 設備工事の増加による増収
旅行業	1,906	1,983	76	4.0	
ホテル・旅館業	1,135	1,284	149	13.2	
ボートレース施設賃貸業	4,705	4,965	260	5.5	
ビル管理メンテナンス業	19,829	20,552	722	3.6	
印刷業	824	840	15	1.9	
広告代理業	1,219	1,301	82	6.7	
その他	5,385	5,391	6	0.1	
調整額(セグメント内)	△2,082	△2,160			
営業収益	33,940	35,155	1,215	3.6	
営業利益	962	1,450	488	50.8	
減価償却費	1,468	1,465	△3	△0.2	
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	2,276	1,387	△889	△39.1	

2. セグメント別の状況(2014年3月期)

7) 建設業の実績 (増収増益)

(単位:百万円・%)

	2013年3月期	2014年3月期	増減額	増減率	増減理由
建設業	39,326	43,894	4,567	11.6	●建設業 完成工事高の増加による増収
調整額(セグメント内)	△45	△54			
営業収益	39,280	43,839	4,558	11.6	
営業利益	875	912	37	4.3	
減価償却費	166	164	△1	△1.1	
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	139	85	△53	△38.6	

2. セグメント別の状況(2014年3月期)

8) その他の事業の実績 (減収増益)

(単位:百万円・%)

	2013年3月期	2014年3月期	増減額	増減率	増減理由
そ の 他	1,805	1,749	△55	△3.1	●その他業 本社移転に伴うシステム構築収入の反動減
調整額(セグメント内)	△3	△3			
営 業 収 益	1,801	1,746	△55	△3.1	
営 業 利 益	131	131	0	0.3	
減 価 償 却 費	6	6	0	△7.8	
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	9	6	△2	△27.3	



3. 2015年3月期の業績予想

3. 2015年3月期の業績予想

1) 業績ハイライト

(単位:百万円)

	2014年3月期			2015年3月期		増減理由
	実績(A)	修正予想(B)※1	差異(A-B)	予想(C)	差異(C-A)	
営業収益	197,495	196,000	1,495	202,000	4,504	<p>●営業収益 流通業における駅ナカ商業施設開業による増収ほか</p> <p>●営業利益 増収に伴う増益に加え、修繕費等費用減少による増益</p> <p>●投資額 大阪府タウン管理財団所有の泉ヶ丘駅前地区の物件取得や賃貸ビル耐震工事等による増加</p>
営業利益	23,062	22,000	1,062	23,300	237	
経常利益	16,899	15,700	1,199	17,300	400	
当期純利益	9,615	9,200	415	10,300	684	
投資額	19,758	25,500	△5,741	32,600	12,841	
減価償却費	20,540	20,600	△59	21,100	559	
EBITDA※2	43,602	42,600	1,002	44,400	797	
有利子負債残高	452,766	457,400	△4,633	445,700	△7,066	
有利子負債残高 ／EBITDA倍率	10.4倍	10.7倍		10.0倍		

※1 修正予想(B)は2013年10月31日時点の数値

※2 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

3. 2015年3月期の業績予想

2) セグメント別営業収益

(単位:百万円)

	2014年3月期			2015年3月期		増減理由
	実績 (A)	修正予想 (B)※1	差異 (A-B)	予想 (C)	差異 (C-A)	
運 輸 業	87,669	86,800	869	86,900	△769	●運輸業 消費税増税に伴う先買い需要の反動減
不 動 産 業	27,046	26,700	346	27,700	653	●不動産業 不動産販売業における分譲マンションの 販売増加による増収
流 通 業	27,672	27,200	472	30,400	2,727	●流通業 駅ビジネス事業における駅ナカ商業施設 「ekimo梅田」、「N.KLASS三国ヶ丘」の 開業や泉ヶ丘駅前地区の物件取得によ る増収
レジャー・ サービス業	35,155	34,500	655	36,000	844	●レジャー・サービス業 ビル管理メンテナンス業における株式会 社クラカタ商事の株式取得による増収
建 設 業	43,839	43,000	839	41,700	△2,139	●建設業 完成工事高の減少による減収
そ の 他 の 事 業	1,746	1,500	246	1,700	△46	
調 整 額	△25,635	△23,700		△22,400		
合 計	197,495	196,000	1,495	202,000	4,504	

※1 修正予想(B)は2013年10月31日時点の数値

3. 2015年3月期の業績予想

3) セグメント別営業利益

(単位:百万円)

	2014年3月期			2015年3月期		増減理由
	実績 (A)	修正予想 (B)※1	差異 (A-B)	予 想 (C)	差異 (C-A)	
運 輸 業	12,374	11,400	974	12,400	25	●運輸業 鉄道事業における修繕費等費用減少による増益
不 動 産 業	5,788	6,400	△611	5,900	111	●不動産業 不動産販売業における増収及びたな卸資産評価損の計上額減少による増益
流 通 業	2,474	2,300	174	2,800	325	●流通業 泉ヶ丘駅前地区の物件取得に伴う増収による増益
レジャー・サービス業	1,450	1,400	50	1,600	149	●レジャー・サービス業 ビル管理メンテナンス業における株式会社クラカタ商事の株式取得に伴う増収による増益
建 設 業	912	700	212	600	△312	●建設業 減収による減益
そ の 他 の 事 業	131	100	31	100	△31	
調 整 額	23,131	△300		△100		
合 計	23,062	22,000	1,062	23,300	237	

※1 修正予想(B)は2013年10月31日時点の数値

3. 2015年3月期の業績予想

4) 運輸業 鉄道旅客収入と輸送人員表

(単位:百万円・千人・%)

全線		2013年3月期 実績	対前年 増減率	2014年3月期 実績	対前年 増減率	2015年3月期 予想	対前年 増減率
旅客収入	定期外	30,114	3.7	30,933	2.7	31,042	0.4
	定期	22,398	Δ0.7	22,599	0.9	22,029	Δ2.5
	合計	52,513	1.8	53,532	1.9	53,071	Δ0.9
輸送人員	定期外	87,182	2.0	88,834	1.9	88,232	Δ0.7
	定期	137,947	Δ0.1	140,028	1.5	136,736	Δ2.4
	合計	225,129	0.7	228,862	1.7	224,968	Δ1.7

(単位:百万円・千人・%)

空港線		2013年3月期 実績	対前年 増減率	2014年3月期 実績	対前年 増減率	2015年3月期 予想	対前年 増減率
旅客収入	定期外	4,000	24.4	4,450	11.2	4,856	9.1
	定期	1,116	2.8	1,146	2.7	1,140	Δ0.6
	合計	5,116	19.0	5,596	9.4	5,996	7.1
輸送人員	定期外	4,877	27.4	5,544	13.7	6,044	9.0
	定期	3,525	3.3	3,655	3.7	3,628	Δ0.7
	合計	8,402	16.0	9,199	9.5	9,672	5.1



4. 中期経営計画「凜進130計画」 の進捗状況

4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

「凜進130計画」の基本方針と数値目標(2011年度～2014年度)

基本方針

- ① 観光・インバウンドビジネスの推進
- ② 不動産・流通事業の拡大
- ③ 新たな事業領域への進出
- ④ なんばのまちづくり推進
- ⑤ グループ経営基盤の強化

数値目標(最終年度2015年3月期)

- ① 連結営業収益 2,300億円以上
- ② 連結経常利益 130億円以上
- ③ 連結有利子負債残高／EBITDA倍率 10倍台

※ EBITDA=営業利益+減価償却費

4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

① 観光・インバウンドビジネスの推進(1/3)

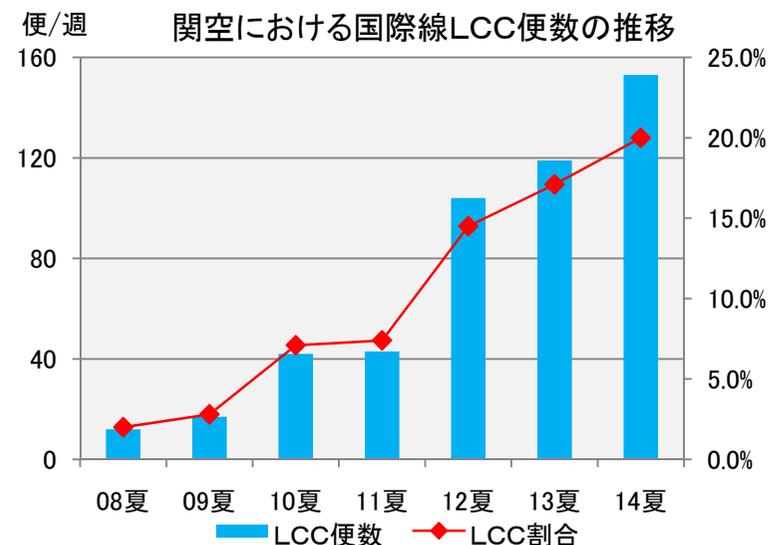
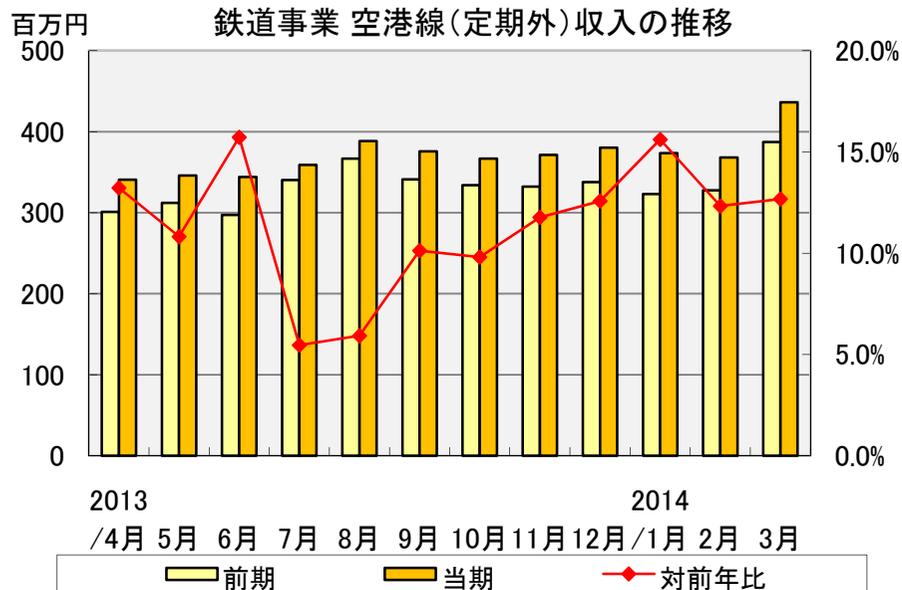
◇ 旅客需要の取込み

定期は沿線就業人口減少等による下落が続く。一方、定期外はLCC就航による空港線の旅客増や既設線でも沿線観光地への旅客誘致等で堅調に推移

◆ 関西国際空港における収益力強化

○ 鉄道アクセスきっぷの豊富なラインナップによる空港線の利用促進

○ 関空リムジンバスの収益力強化(24時間空港対応 早朝深夜便時間帯拡大等)



新関西国際空港(株)の運航計画(2014/3/26発表)より当社作成

4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

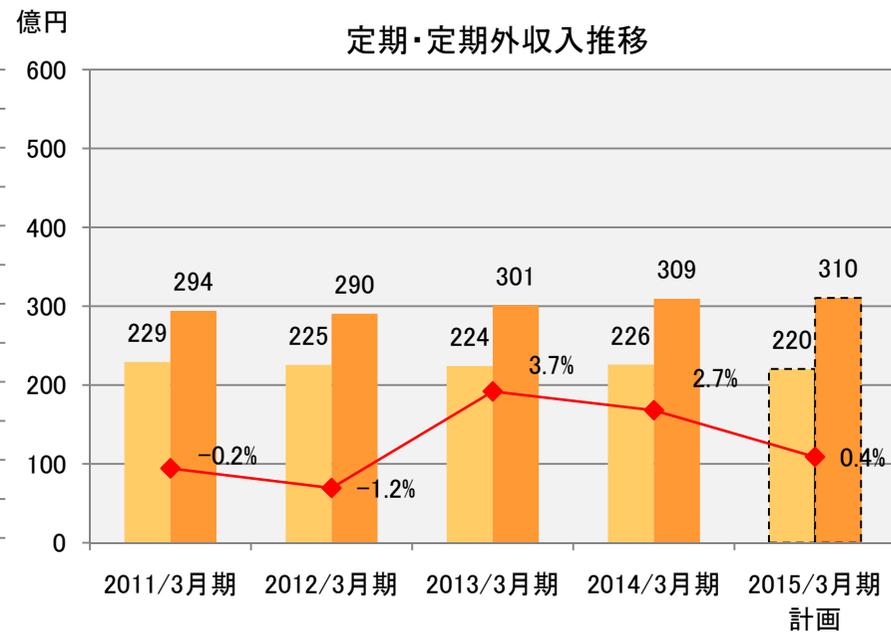
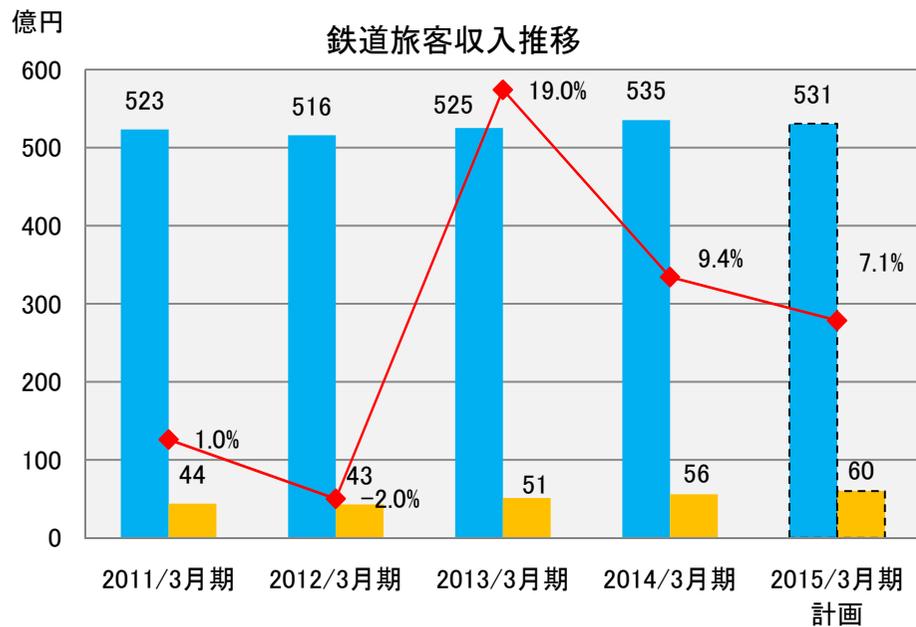
① 観光・インバウンドビジネスの推進 (2/3)



「ラピート ネオ・シオンバージョン」
©創通・サンライズ

◆ 鉄道事業の収益力強化

- 高野山等沿線観光地への旅客誘致強化
- 和歌山大学前駅にイオンモール開業(2014年3月)
駅直結、鉄道・バス利用促進
- 空港線開業20周年。人気アニメ「ガンダム」× 空港特急「ラピート」を期間限定運行
(2014年4月～6月)



■ 全線 ■ 空港線 ◆ 空港線対前年比

■ 定期 ■ 定期外 ◆ 定期外対前年比

4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

①観光・インバウンドビジネスの推進(3/3)

海外からのお客さまを受け入れる基盤整備、高野山開創1200年に向けた誘客強化

◆訪日インバウンド旅客の受入基盤拡充・販売強化

- 関西初、海外のお客さまを対象に鉄道乗車券のインターネット販売を開始(2014年2月)
- 主要駅へWi-Fi環境整備、なんば周辺コインロッカー増設
- 旅客案内情報の多言語表記拡大



関西空港駅案内看板

◆高野山開創1200年(2015年)に向けた旅客誘致の強化

- 高野山駅(登録有形文化財)・極楽橋駅の美装化推進
- 首都圏等、沿線外での誘客キャンペーンを実施
- フランスやタイ等、海外でのPR活動強化
- 金剛峯寺や地元自治体、JR西日本等とのタイアップ
- 「天空」運行開始5周年記念イベントを開催(2014年夏)



高野山駅

◆沿線観光利用の促進

- 「あべのハルカス」グランドオープンにあわせて低床式車両「堺トラム」が天王寺駅前へ乗入れ開始(2014年3月)(阪堺電気軌道株)



あべのハルカスをバックに走行する「堺トラム」 26

4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

②不動産・流通事業の拡大(1/5)

◇マンション分譲事業の拡大

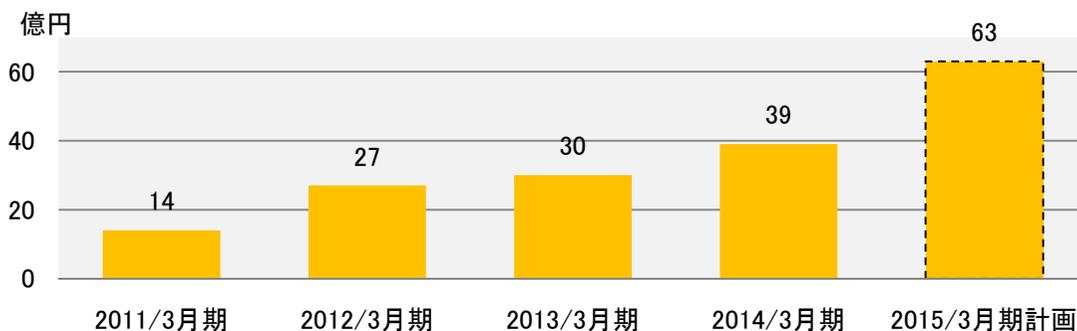
販売中物件は順調に推移。今後は市況をみながら好立地案件を対象に事業推進

主な分譲マンション

※他社との共同事業物件

名称	所在地	戸数	竣工
ヴェリテ永和駅前	東大阪市	69戸	2013年8月
ヴェリテ帝塚山万代	大阪市住吉区	44戸	2013年12月
ヴェリテ山本駅前テラス	八尾市	86戸	2014年7月(予定)
ブランズ・ヴェリテ堺七道※	堺市堺区	202戸	2015年3月(予定)
ヴェリテ洛西口	京都府向日市	72戸	2015年3月(予定)
ヴェリテ洛西口駅前	京都府向日市	40戸	2015年7月(予定)

マンション分譲事業売上の推移



ヴェリテ洛西口駅前(イメージ)

4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

②不動産・流通事業の拡大(2/5)

◇なんばエリア既存賃貸施設のブラッシュアップ

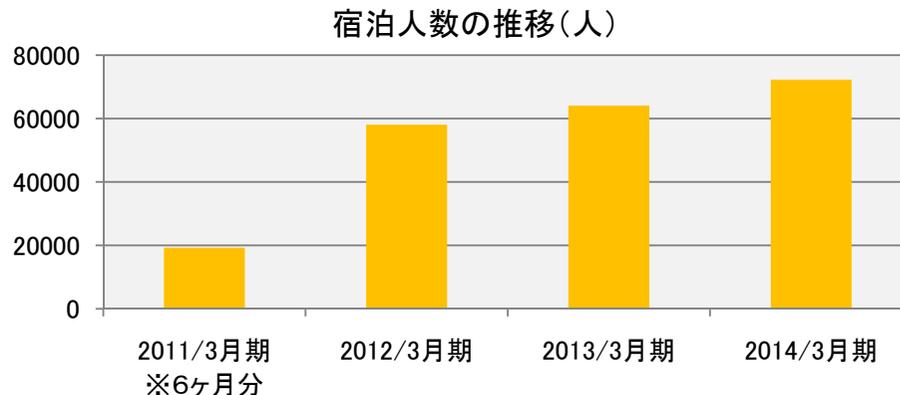
既存物件の稼働率や賃料単価向上により、保有物件の収益性を高める

◆フレイザーレジデンス南海大阪の収益力向上

中長期滞在も可能な「レジデンシャルホテル」として2010年10月に開業。外国人観光客を中心に順調に推移。さらなる収益向上を図る

○外国人観光客のニーズに応え、受入体制強化(ソファベッド導入等)

○台湾・香港等、現地への営業活動強化



フレイザーレジデンス南海大阪



フレイザーレジデンス
南海大阪室内



パークスタワー
28

◆パークスタワーの競争力強化

南海難波駅に隣接した地上30階のオフィスビル。梅田・天王寺等で大型オフィスビル開業が進むなか、競争力強化のためBCP対策を推進

4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

②不動産・流通事業の拡大(3/5)

◇既存商業施設のブラッシュアップ

梅田(キタ)・天王寺(アベノ)の相次ぐ商業施設開業が進むなか、地域が連携したエリアプロモーション、定期的な店舗リニューアルを実施し、ミナミエリア全体で集客力を高めるとともに、集客が見込める沿線施設の収益力向上を目指す

◆なんば商業施設の収益力向上

- ミナミエリアの商業施設による共同キャンペーン「みんなdeミナミ」(2014年3月)
- 店舗入替えやリニューアルの実施(なんばパークス、なんばCITY)
- 共通ポイントカード「PARKS・CITY CARD」を活用した販売促進強化

◆沿線商業施設のリニューアル

三国ヶ丘駅に駅ナカ「N.KLASS(エヌクラス)三国ヶ丘」開業(2014年5月)

【施設概要】

店舗面積: 1,335㎡

店舗数: 12店舗 ※先行オープン時(4/26)は8店舗

乗降客数: 南海三国ヶ丘駅 約4万人/日



N.KLASS三国ヶ丘建物外観と屋上公園

4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

②不動産・流通事業の拡大(4/5)

◇収益基盤の拡充

沿線で培ってきた駅ビジネスのノウハウを活かし、沿線外へ積極展開

◆駅ビジネス事業の沿線外展開

御堂筋線梅田駅に「駅ナカ」商業施設「ekimo梅田」開業(2014年4月)

2013年に開業した御堂筋線天王寺駅・なんば駅に続き開業

【ekimo梅田 施設概要】

店舗面積:572㎡

店舗数:14店舗(コンビニ「アンスリー」他)

年間売上目標:14億円

共同事業者:東急不動産株式会社

乗降客数:大阪市営地下鉄梅田駅 約42万人/日



ekimo梅田

ekimo店舗概要

	ekimo梅田	ekimoなんば	ekimo天王寺
開業	2014年4月	2013年10月	2013年4月
店舗面積	572㎡	1,047㎡	614㎡
店舗数	14店舗	19店舗	11店舗
年間売上目標	14億円	19億円	13億円

4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

②不動産・流通事業の拡大(5/5)

◇収益基盤の拡充

泉北ニュータウンエリアへの進出による収益確保及び沿線地域の活性化を図る

◆泉ヶ丘駅前地区(駅南エリア)活性化事業

泉北高速鉄道泉ヶ丘駅前の商業施設及び駐車場施設の取得に向け、基本協定を締結(2014年3月)

【概要】

取得日:2014年7月末(予定)

取得先:一般財団法人大阪府タウン管理財団

買収価格:45億円

営業収益:約14億円(2013年3月期)

乗降客数:泉北高速鉄道泉ヶ丘駅 約4万人/日

物件概要

南専門店街ビル (商業施設)	(土地)敷地面積:約12千㎡ (建物)延床面積:約9千㎡
センタービル (商業施設・一部オフィス)	(土地)敷地面積:約8千㎡ (建物)延床面積:約10千㎡
駐車場ビル ※敷地は一部センタービルに含む	(土地)敷地面積:約34千㎡ (建物)延床面積:約34千㎡



南専門店街ビル



センタービル

4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

③新たな事業領域への進出(1/1)

◇現行事業の周辺事業、新規事業や公共関連ビジネスへの展開

収益性、シナジー効果、投資負担のバランスを勘案し、収益拡大を目指す

◆ビル管理会社のM&A

- (株)クラカタ商事の株式100%取得(2014年2月、南海ビルサービス(株))
首都圏事業の安定収益基盤の強化を図る

商号	株式会社クラカタ商事
事業内容	ビル管理業(清掃管理業務等)
売上高/資本金	901百万円(2013年3月期)/45百万円
設立	1976年10月

M&A実績(2014年3月期)

株式取得年月	対象企業	事業内容	売上規模
2013年6月	(株)日本エコプランニングサービス	エコツアー企画・運営他	約6千万円
2013年10月	(株)京阪電気商会	総合電気設備事業	約8億円
2014年2月	(株)クラカタ商事	ビル管理業	約9億円

4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

④ なんばのまちづくり推進(1/2)

◇ なんばEKIKANプロジェクト

多彩な魅力が集まるなんばの南端エリアまで、ミナミ全体を活性化

◆ 南海難波駅～今宮戎駅間高架下開発計画

新たな商業施設「なんばEKIKANプロジェクト※」開業(2014年4月)

【プロジェクト概要 第1期】

店舗面積: 895㎡

店舗数: 3店舗(自転車専門店、DIY専門店、炭火焼レストラン)

今後の計画: 第2期開業(2015年春予定)

※「エキナカ」、「エキマエ」ではなく、南海難波駅と今宮戎駅との「エキカン」に、独創的で趣味性の高い店舗を集積し、難波駅の南側に新たな「まち」を創造するプロジェクト



鉄道高架下

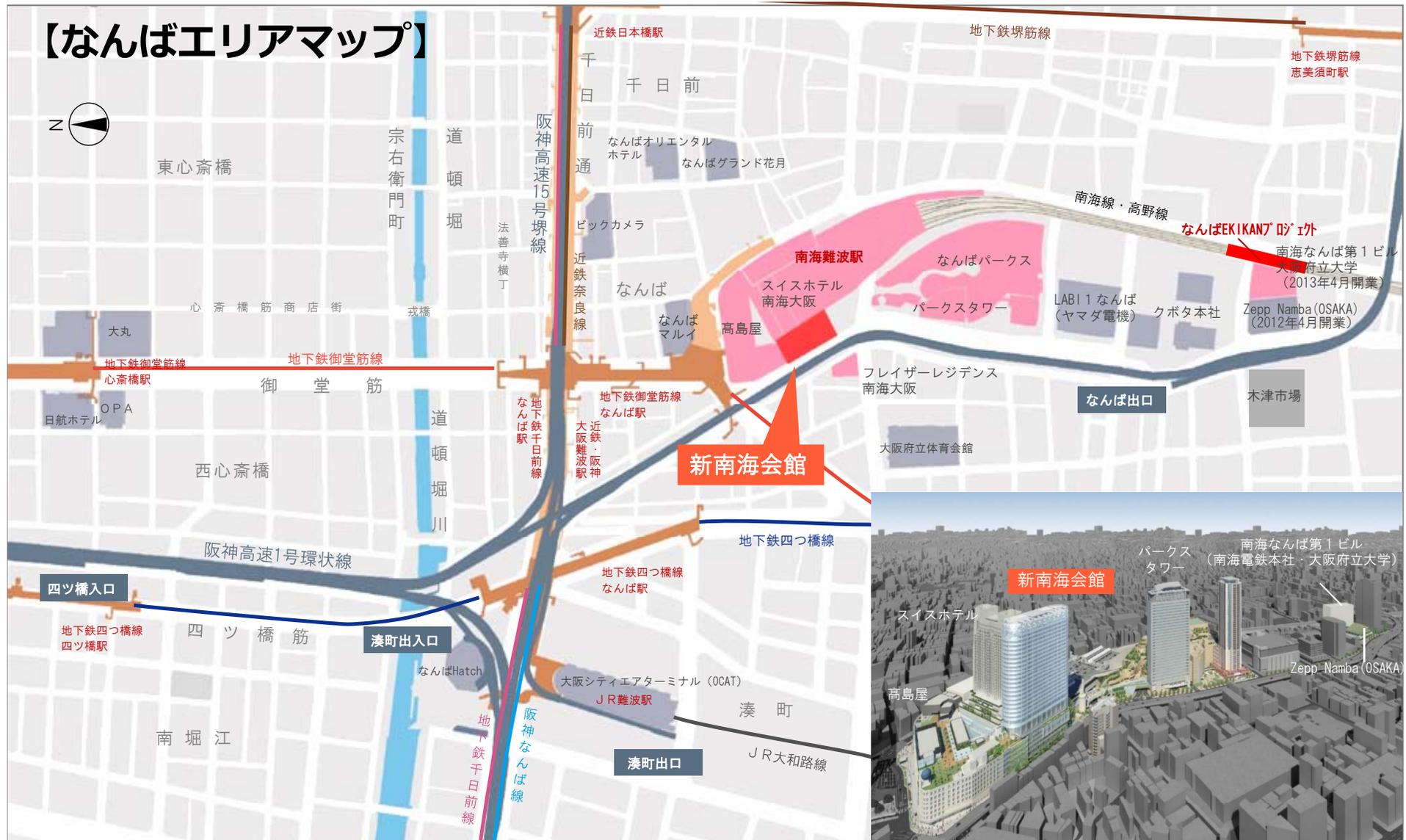


なんばEKIKAN全景



DIY専門店内

4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況



4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

④ なんばのまちづくり推進 (2/2)

◇ 南海会館ビル建替計画

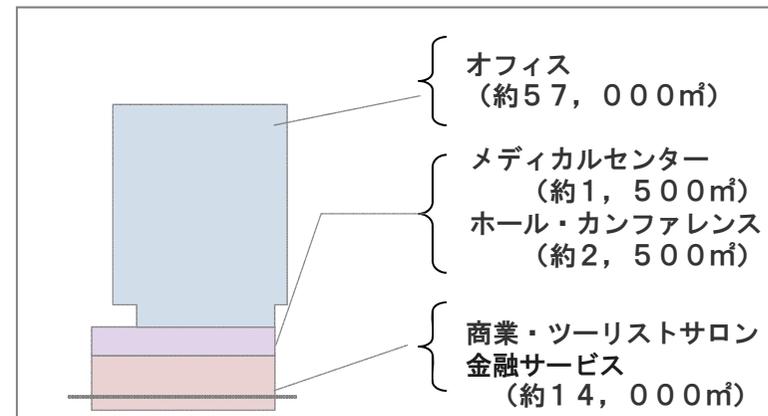
インフラ設備の移転改修工事が完了。ビル内装の解体工事に着手、進行中

○ 建替スケジュール



現在

◆ 施設構成イメージ



※その他、設備関係3,000㎡ 35

○ 建築概要

階数	地上29階 地下2階
高さ	154m
建物用途	事務所、店舗、ホール・カンファレンス、医療施設
延床面積	約78,000㎡
総事業費	約400億円
竣工予定	2019年春

4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

◆主な取組み

2003年



2009年



2014年



2019年



なんばエリアの新たな価値創造

都市機能の充実による国際化対応と周辺地域、
施設との相乗効果を図り、「なんば」の価値向上を目指す



パークスタワー



なんばパークス



南海ビル外壁美装化



フレイザーレジ
デンス南海大阪



南海なんば第1ビル



新南海会館イメージ
(建替推進中)

- 2003年 9月 パークスタワー開業
- 2003年 10月 なんばパークス第1期開業
- 2007年 4月 なんばパークス全館グランドオープン
- 2009年 9月 南海ビル外壁美装化工事完成
- 2009年 10月 なんばガレリア誕生
- 2010年 10月 サービスアパートメント「フレイザーレジデンス南海大阪」開業
- 2011年 4月 なんばCITY再生リニューアルグランドオープン
- 2011年 7月 南海会館ビル建替え先行工事着手
- 2012年 4月 Zepp Namba(OSAKA)開業
- 2013年 2月 南海なんば第1ビル完成・本社移転
- 2013年 4月 大阪府立大学の新たな拠点 I-site(アイサイト)なんば開業
- 2014年 4月 なんばEKIKANプロジェクト 第1期開業



なんばガレリア



Zepp Namba(OSAKA)



なんばEKIKANプロジェクト

4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

⑤グループ経営基盤の強化(1/2)

◇「安全・安心の追求」「サービスの向上」

輸送の安全の維持・向上を目的に、省エネ車両計20両の新造や難波駅耐震補強工事、高野線への新型ATS導入など安全対策への投資を推進

◆連続立体交差事業の推進

輸送の安全性向上と踏切における事故の抜本対策として、南海線(堺市内、高石市内、泉大津市内)の立体交差化を推進

◆駅バリアフリー化整備工事の推進

2013年度は、羽倉崎駅、樽井駅でバリアフリー化工事を完了
2014年度は、二色浜駅で推進中

◆鉄道事業における安全投資

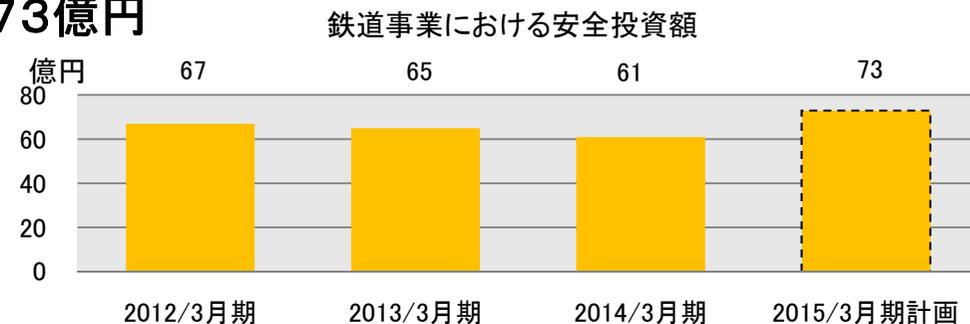
必要な安全対策を計画的に実施。設備の充実や更新などに2013年度は61億円を投資、2014年度計画は73億円

【2014年度計画の主な工事】

- ・車両の新造及び更新
- ・駅耐震補強工事(難波駅他)
- ・新型ATS導入



泉大津連立



4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

⑤グループ経営基盤の強化(2/2)

◇増収に向けた取組み

現行事業のブラッシュアップに加え、新たな事業領域を広げることで収益源の確保を目指す

◆駐車場ビジネスの拡充

鉄道駅周辺における駐車場需要拡大を背景に、沿線商業施設駐車場や駅直結駐車場など個々に運営戦略を見直し収益力向上を図る

実績：堺駅商業施設PLATPLAT駐車場

岸和田駅駐車場

浅香山駅前遊休地の月極駐車場化 ほか

◆バス整備業務受託

大阪市交通局の守口営業所・井高野営業所のバス整備業務を受託(南海車両工業株)

◆沿線活性化プロジェクト

観光情報サイトの開設など加太エリア(和歌山市)の観光誘致促進



岸和田駅駐車場



加太の風景



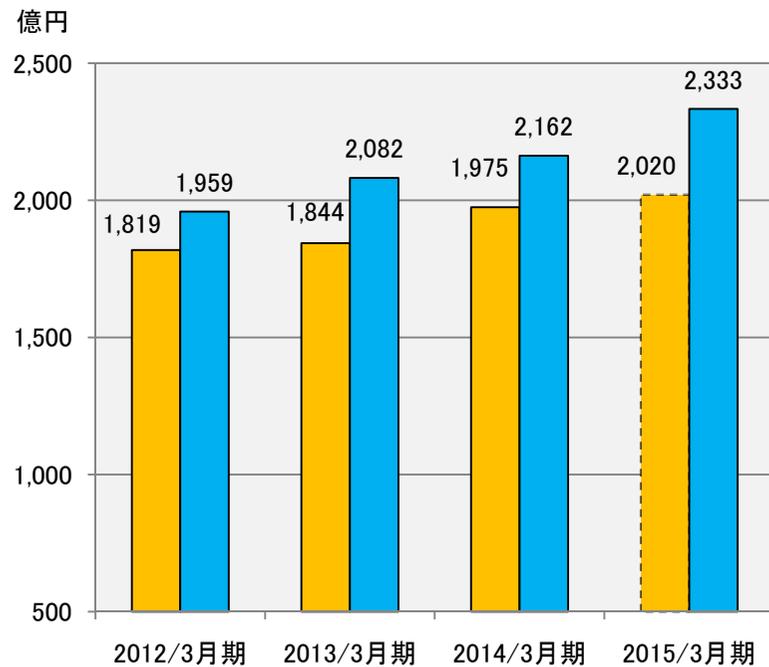
加太エリア観光情報サイト

4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

◆ 中期経営計画の進捗状況(1/2)

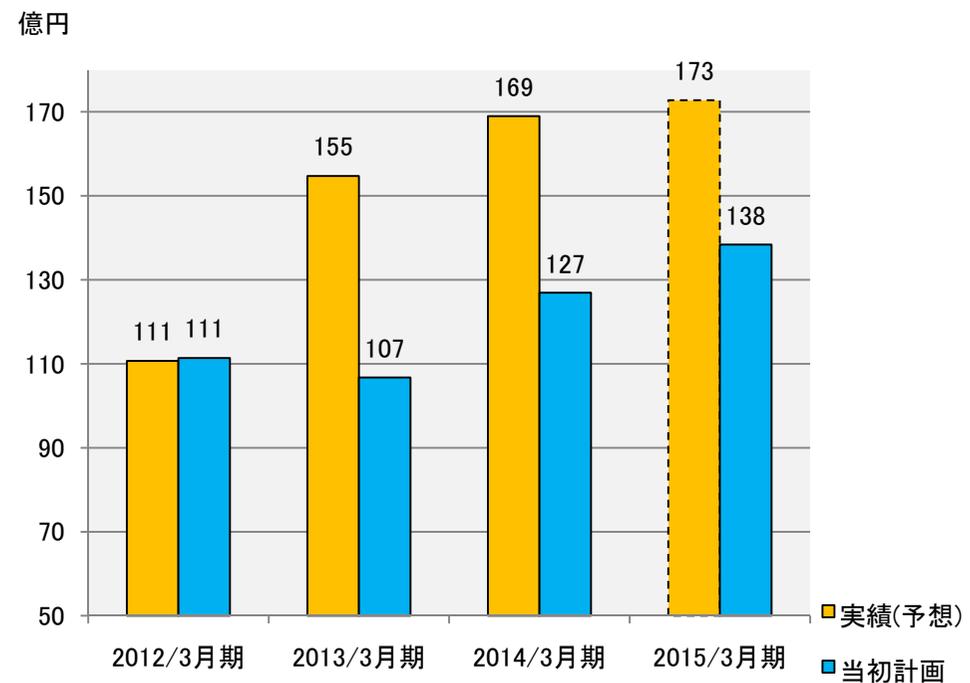
連結営業収益

M&A・成長戦略の進捗遅れ他により計画には未達



連結経常利益

収益性の向上、コスト削減、支払利息の減少により、計画を上回る実績

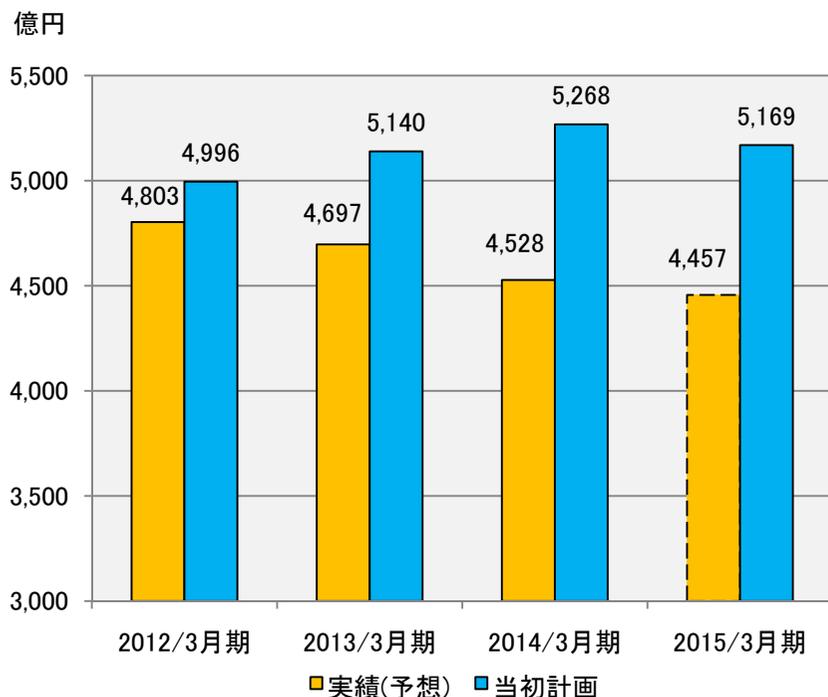


4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

◆ 中期経営計画の進捗状況(2/2)

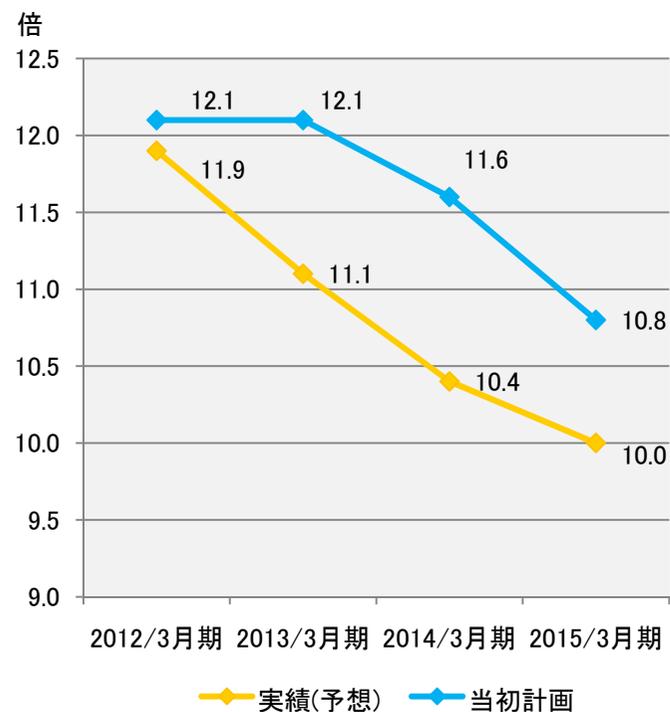
連結有利子負債残高

成長戦略投資の未実施、営業キャッシュフローの増加により減少



連結有利子負債・EBITDA倍率

連結有利子負債残高の減少により改善



IRのお問い合わせ先

南海電気鉄道株式会社

〒556-8503 大阪市浪速区敷津東2-1-41

経営政策室 経営企画部(IR担当)

TEL:06-6644-7105 FAX:06-6644-7108

URL:<http://www.nankai.co.jp/>

本資料は投資勧誘を目的とした資料ではありません。あくまでも参考資料であり、正確な決算数値等は決算短信・有価証券報告書等をご参照ください。本資料で記述しております業績予想及び将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、需要動向などの業況の変化、物価変動等、多分に不確実要素を含んでおります。そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により業績予想と乖離する場合がありますので、ご承知おきいただきますようお願いいたします。

MEMO